



開校を祝してのテープカット

祝開校

～歴史と伝統を引き継ぎ、新たなスタート～

鹿屋市では、児童生徒数の減少による学校の小規模化が進んでいます。

学校教育は、学校・学年・学級・委員会活動・クラブ活動などの集団活動を通して進められることから、市教育委員会では、望ましい学習集団の形成が重要と考え、教育環境の整備・充実を目指して、学校再編に取り組んでいます。

今年、本市の小中一貫教育の先駆的取組として、鶴羽、古江、菅原の3小学校と花岡中学校を再編し、県内初となる施設一体型の小中一貫校花岡学園が開校。また、吾平・神野小学校の2小学校による統合も行われ、新生吾平小学校が開校しました。

【問い合わせ】市教育総務課 ☎ 0994-31-1136

花岡小学校校歌・小中一貫校花岡学園愛唱歌

子どもたちや地域に末永く愛され、親しまれるようにと、地域のイメージにあった校歌と愛唱歌が完成しました。

なお、校歌と愛唱歌の作詞は宮下昭廣教育長、作曲は花岡町在住で鹿児島国際大学国際文化学部音楽学科教授の久保禎氏によるものです。

久保禎氏の伴奏により、新しい校歌を斉唱する花岡学園の児童生徒



県内初の 小中一貫校

平成25年4月8日、市内の3つの小学校（鶴羽小、古江小、菅原小）と花岡中学校が統合して、施設一体型の小中一貫校として県内で初めての「花岡学園」が開校しました。

花岡学園の紹介

●場所

鹿屋市古里町99番地

●学校像（教育目標）

9年間連続した学びの中で、自ら学ぶ意欲と豊かな心をもち、健康でたくましく生きる「花岡の子」を育てる

●校章

○小中一貫校花岡学園が、これまでの学校の歴史を受け継ぎ、「花岡」の名で一つにまとまって新たに飛躍していく思いを表現

○鶴羽小の「鶴」、菅原小の「梅」、古江小と花岡中の「桜」をそれぞれの学校の象徴的なものとして表現

○小中一貫校としての文字「小中」を取り込んだ図柄

○「花と緑と笑顔の学校」という学校経営コンセプトを反映させるため、鶴の羽の中に花の図柄と緑色を配置



●校訓

○小学校

「かしこく」

なかよく たくましく」

○中学校

「自主 友愛 練磨」

●施設整備

小学校舎新築、プール改修、バス昇降場設置、駐車場整備などを行いました。

また継続して中学校舎改修を行います。（平成25年度）



▲新築された教室

小中一貫教育 の特徴

学習指導

①小・中学校の交流、連携により、教職員の持つ専門性やきめ細やかな指導など、互いの校種のよさを活かした指導を通して、学習意欲や学力の向上が図られます。

②小・中学校教員によるTT授業等により、小学校高学年児童の知的好奇心を充足させたり、中学生の定着不十分な内容を補充したりするなど、個に応じた指導の充実により、学習意欲や学力の向上が期待できます。

※TT授業とは

複数の教師が協力して授業を行う指導方法のこと

生徒指導

①9年間を通じた継続性のある指導を行うことにより、児童生徒の不安を軽減し、生徒指導上の諸問題の解決に寄与できます。

②中学校入学時の不安を軽減することができると共に、

中学校入学後に増加する不登校などの諸問題の減少が期待できます。

教職員の意識改革

①教職員相互が校風や風土等を踏まえた指導に当たることにより、教職員の指導力、授業力の向上が図られます。

②小・中学校教職員相互のよさを活かした指導を行うことにより、授業力が向上し、教職員の意識などを含め、教職員の資質向上が期待できます。

学校運営

①目指す子ども像を共有することにより、学校運営に一貫性が図られます。

②教育目標、教育方針の一貫性が図られます。

③学校行事、教育活動の展開に一貫性が図られます。



花岡学園愛唱歌

一 花咲く丘に 風そよぎ
小鳥の歌も かわやかに
手と手を繋ぐ 友情の
九年の絆 いざ深めん
ああ 花岡校に和みあれ
誇りも高き わが里の
高隈山の 雄々しさに
清新の意志 はつらつと
真理の道を いざ究めん
ああ 花岡校に力あれ
さざ波寄せる 錦江に
希望の光 さんさんと
熱き血潮を たぎらせて
とわの歴史を いざ築かん
ああ 花岡校に栄えあれ

花岡小学校校歌

一 大空高く そびえ立つ
高隈山の 雄姿見て
かしこき瞳 輝かせ
明日にはばたく 学び舎は
夢の花咲く 花岡小学校
花美しき 古里は
緑の風の そよごっこ
心も歌も かわやかに
絆睦みし 学び舎は
笑顔の花咲く 花岡小学校
錦江湾の 白波に
熱き血潮を たぎらせて
鍛えし体 たくましく
力みなぎる 学び舎は
歴史の花咲く 花岡小学校